播磨町部活動地域展開イメージ図

移行の背景（現状と課題）

○播磨中学校（12部）、播磨南中学校（9部）に計644人
（全体の64.9%　参考:文化部19.9%）が参加（R5.4現在）
○競技数の少なさ
○競技経験のない教師による指導が増加
○働き方改革を推進しているなか、教師にとって大きな業務負担

◆活動の質や量の確保の点から持続可能が困難

めざす姿
（今後の部活動の在り方）

中学生にとって、ふさわしい（持続可能な）
スポーツ・文化・芸術環境の実現
↓
部活動の運営主体を学校から
地域（「NPO法人スポーツクラブ２１はりま」）へ移行
↓
中学生にとどまらず
播磨町のスポーツ・文化・芸術環境のさらなる充実

新たなスポーツ・文化・芸術環境の構築に向けた具体的対応策

○運営団体である「スポクラはりま」の再整備による機能充実
【継続】・認知度・信頼性の向上及び財源確保の推進
【継続】・組織再編
【新規】・多様なスポーツ体験の機会の提供
【新規】・高校及び特別支援学校との連携促進
【新規】・ジュニアからシニアまでの多世代での取組
【新規】・不登校や障害のある子供たちの地域の学びの場としての役割
○スポーツ指導者の質の保障及び量の確保方策の確立
【拡充】・質の保障
【拡充】・量の確保
【新規】・アスリート人材等の活用（スポーツ系の大学生、パラアスリート等）
○学校を含めた町立スポーツ施設の確保方策の確立
【終了】・利用ルールの改正
【終了】・施設の利用予約システムの一元管理化
【継続】・学校施設の有効活用の促進
【新規】・地域スポーツの活動の拠点整備
（学校体育・教育施設の拠点化や社会体育・社会教育施設との一体化）
○大会への参加の在り方を検討し関係機関へ要請
【継続】・中体連や競技団体が主催する大会の参加形態を模索
【継続】・指導者の資格要件緩和及び資格取得の猶予期間の設定
○安定した財源確保の体制構築
【継続】・適切な会費設定の検討
【継続】・安心した活動ができる保険への加入
【新規】・民間資金の活用（企業版ふるさと納税・認定NPOの取得等）
○安全確保の体制構築
【継続】・保険の在り方検討
【新規】・トレーナー（非常勤）の配置による安全体制の構築
○教職員の諸制度の効果的な活用
【継続】・次期指導要領改訂時に学校の部活動の在り方を明示予定
【継続】・教職員の兼職兼業許可申請を促進
○保護者等の啓発と理解促進
【拡充】・きめ細やかな情報発信
【拡充】・受益者負担等への理解

中学生にとって、持続可能で適切なクラブライフを享受できる環境整備

R5・6・7 重点項目

組織化
組織で子供を見守る！

９年間を見据えた系統的指導体制の確立
≪関係団体等（スポーツ協会・文化協会）の機能強化≫

- 資格取得助成制度の充実
- 競技別指導体制等の充実
- 運営母体の在り方検討

地域総がかりでの推進（参画と協働）

播磨町における新たなスポーツ・文化芸術環境の再構築

生涯学習社会 生涯スポーツ社会 の実現